



**シラバス参照**

タイトル「**2016年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2016年度 教養科目シラバス**—「わかやま」学」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	わかやまを学ぶ																																		
担当教員	<a href="#">上村 雅洋</a> <a href="#">藤田 和史</a> <a href="#">吉村 旭輝</a> <a href="#">海津 一朗</a> <a href="#">東 悦子</a>																																		
対象学年		クラス																																	
講義室		開講学期	前期																																
曜日・時限	金 4	単位区分																																	
授業形態	講義	単位数	2																																
準備事項																																			
備考	全学部・全学年 人数制限有（150名）学部開放授業登録者は別枠受講可																																		
科目名（英語表記）	Lectures on Wakayama																																		
授業の概要・ねらい	「わかやま」の特性を理解するために、「わかやま」がもつさまざまな側面について、「わかやま」を研究フィールドとする専門家の目を通して学ぶ。そこでは、新たな「わかやま」の姿が具体的に明らかにされ、学生の「わかやま」を深く理解する契機となるであろう。「わかやま」をよく知ることによって、「わかやま」を発信できるようにする。将来「わかやま」などをフィールドとする地域研究を進める上での一助となるであろう。																																		
授業計画	<p>おおむね、以下のような内容を予定しているが、講師の都合により、日程が前後したり、急遽変更することがあるかもしれません。ご承知置きください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス(4月8日)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態（4月15日、古賀庸憲）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>和歌祭とわかやまの祭礼の特色（4月22日、吉村旭輝）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>多様性のあるわかやまの地形・地質（5月6日、此松昌彦）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>紀伊半島および和歌山の生き物たち（5月13日、高須英樹）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>和歌山から世界へ—海を渡った和歌山県人—（5月20日、東悦子）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>和歌山の環境精神文化（5月27日、加藤久美）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>わかやまの説話・物語（6月3日、大橋直義）</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇—（6月10日、海津一朗）</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>わかやまの城下町・参勤交代（6月17日、藤本清二郎）</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>和歌山の風土と産業（7月1日、藤田和史）</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>近代都市わかやまの発展—「工都」の出現と50万都市構想—（7月8日、高嶋雅明）</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>わかやまの家屋と建築（仮）（7月15日、平田隆行）</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>和歌山の鉱山の歴史と観光資源化の可能性（7月22日、長廣利崇）</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ、アンケート（7月29日）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ガイダンス(4月8日)	2	和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態（4月15日、古賀庸憲）	3	和歌祭とわかやまの祭礼の特色（4月22日、吉村旭輝）	4	多様性のあるわかやまの地形・地質（5月6日、此松昌彦）	5	紀伊半島および和歌山の生き物たち（5月13日、高須英樹）	6	和歌山から世界へ—海を渡った和歌山県人—（5月20日、東悦子）	7	和歌山の環境精神文化（5月27日、加藤久美）	8	わかやまの説話・物語（6月3日、大橋直義）	9	わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇—（6月10日、海津一朗）	10	わかやまの城下町・参勤交代（6月17日、藤本清二郎）	11	和歌山の風土と産業（7月1日、藤田和史）	12	近代都市わかやまの発展—「工都」の出現と50万都市構想—（7月8日、高嶋雅明）	13	わかやまの家屋と建築（仮）（7月15日、平田隆行）	14	和歌山の鉱山の歴史と観光資源化の可能性（7月22日、長廣利崇）	15	まとめ、アンケート（7月29日）
回	内容																																		
1	ガイダンス(4月8日)																																		
2	和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態（4月15日、古賀庸憲）																																		
3	和歌祭とわかやまの祭礼の特色（4月22日、吉村旭輝）																																		
4	多様性のあるわかやまの地形・地質（5月6日、此松昌彦）																																		
5	紀伊半島および和歌山の生き物たち（5月13日、高須英樹）																																		
6	和歌山から世界へ—海を渡った和歌山県人—（5月20日、東悦子）																																		
7	和歌山の環境精神文化（5月27日、加藤久美）																																		
8	わかやまの説話・物語（6月3日、大橋直義）																																		
9	わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇—（6月10日、海津一朗）																																		
10	わかやまの城下町・参勤交代（6月17日、藤本清二郎）																																		
11	和歌山の風土と産業（7月1日、藤田和史）																																		
12	近代都市わかやまの発展—「工都」の出現と50万都市構想—（7月8日、高嶋雅明）																																		
13	わかやまの家屋と建築（仮）（7月15日、平田隆行）																																		
14	和歌山の鉱山の歴史と観光資源化の可能性（7月22日、長廣利崇）																																		
15	まとめ、アンケート（7月29日）																																		
到達目標	「わかやま」についての新たな知見を得て、「わかやま」を深く理解する契機とし、「わかやまの」情報発信者となる。																																		
成績評価の方法	成績評価は、積極的な授業参加（60%）、および授業内小テストもしくはレポート（40%）によって行う。小テストかレポートは担当者によって異なるので、各回のアナウンスをよく聞くようにしてほしい。																																		

教科書	授業中に各講師から適宜プリントを配布する。
参考書・参考文献	授業中に適宜紹介する。第1回のガイダンス講義では、一般的な参考文献等を提示する。
履修上の注意・メッセージ	講義は、毎回「わかやま」を対象とし、さまざまな専門性をもつ講師によって順次行われる。1回完結の講義で、できるだけ異なる分野の講師の講義を欠席することなく、数多く受講し、積極的な参加を求める。講師の都合により、多少講義の順序を変更することがある。 第1回目の講義（4月10日）に、詳しい各回の講義内容と担当者の予定について説明する。
履修する上で必要な事項	毎回講師が異なり、そのたびに小テストないしはレポートを提出してもらうので、積極的な授業への参加が求められる。レポートについては翌週に提出してもらう。
受講を推奨する関連科目	「わかやま学」に関する授業、地域協働セミナーなど。
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、各回の講師から授業中に提示される課題にしたがってレポート（2回以上）を提出することになりますので、自主的学習を進めてください。
その他連絡事項	

